

(様式1)

平成26年度 学校経営計画書・自己評価計画書

私立小松大谷高等学校

学校長 林 伊久夫

1, 教育目標

親鸞聖人の教えと信仰を基調として、自己の心底を探求し、勤労と責任を重んじ、世に出てこの人あればこそといわれる人材を養成することを使命とする。

2, 学校の現状

- ① 加賀地区唯一の私学として、教育方針に基づき保護者をはじめ地域社会から一定の評価を得る。
- ② 各教科において生徒の興味、関心、意欲を引き出す授業の確立に向け、学習習慣を身につけさせるよう努める。
- ③ 行事や生徒会活動、部活動を通じて全人的発達を促進し、積極的且つ自主的に健康管理及び保持向上を図る。

3, 中・長期的目標

(1) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 各科・コース・学年の年間指導計画の達成と活性化を図る。
- ② 基本的生活習慣を身につけさせ、豊かな人間性あふれる生徒を育成する。
- ③ ISO認定(H18)を受け、環境教育に努め、学校全体で地域の奉仕活動にも参加し取り組む。

(2) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 私学職員として一人一人が学校経営に参画している自覚を持ち、教育目標(建学の精神)の達成に向け組織的、機能的な学校運営に努める。
- ② 職員は研究授業、校内研修会を通じて授業改善等に取り組み、生徒の進路実現に関して充実を図る。
- ③ 保護者(PTA)、地域との連携を深め信頼される学校づくりを推進していく。

4, 今年度の重点目標

- ① 基本的生活習慣を身につけ、自己研鑽に努め、宗教心の薫育、奉仕活動への参加を促す。
- ② 基礎学力の向上とともに学習意欲の涵養に努める。特に進路に対する個人指導を重視し、新たなる自己の才能の伸長を促す。
- ③ 地域社会に根差した学校を目指し、生徒指導の充実を図るため、教職員間(担任・教科・部顧問)及び保護者、地域住民との連携「報・連・相」を徹底する。
- ④ 生徒会活動、部活動への参加意識を高め、自主・自立・協調の精神を育成し、心身の健全な発達を目指す。